

明るい村づくりに 東北電力㈱村上営業所から LED街路灯の寄贈

このたび、東北電力㈱村上営業所から、明るい村づくりに役立ててほしいと、LED街路灯10器が寄贈されました。街路灯は、社会貢献活動の一環として、交通事故や犯罪のない明るい街づくりに協力しようと、昭和40年から同社が市町村に贈っているもの。

阿部雅和所長は「地域の安全な暮らしに役立ててほしい。また、地域のために今後も活動を継続していきたい」と、平田大六村長に目録を手渡しました。

今回、寄贈していただいた街路灯10器の設置場所などについては、要望のある各集落と相談のうえ、決める予定です。



▲平田大六村長に目録を手渡す東北電力㈱村上営業所の阿部雅和所長（写真右）



小学校入学を控え 関川小児童と年長児が交流

4月から関川小学校の一員となる村内年長児46人と交流を深めようと、3月3日、同校5年生児童45人が下関保育園を訪問しました。これは、総合学習の一環で行なわれたもの。

最初に、5年生がこの日のために用意した手作りのメッセージ付き名刺を園児に手渡し自己紹介を行い、その後、グループに分かれ絵本の読み聞かせや鬼ごっこ、ドッジボールなどを楽しみました。普段はいないお兄さんやお姉さんに遊んでもらい、園児たちも大喜び。園内にはかわいい声が響き渡っていました。

5年生の阿部慎吾くん（大島）は「保育園の子どもたちが喜んでくれて良かった。今日一日過ごしてみて入学してきたらすぐに仲良くできる感じがした。4月から6年生になるけど、1年生にはダメなことは注意し、分からないことは優しく教えてあげたい」と話していました。

村内の学校を村民に開放し、社会教育の充実を図る『学社連携』の一環として、このたび、関川小学校を会場に書道教室が開催されました。書道教室は初めての開催で、約10人が参加。講師は同校の鈴木政信校長が務めました。

村教育委員会では、これまでも社会教育の充実を図ろうとパソコン教室や観光ボランティアの育成といったさまざまな取り組みを実施。地域の協力を得ながら学社連携に努めてきました。

鈴木政信校長は「これからも学校を村民の皆さんに開放し、有効に活用していただきたい。普段、学校で学んでいるのは子どもたちだが、こうして大人が学んでいる姿を子どもたちが見ることも素晴らしいことだと思う」と話していました。

また、書道教室に夫婦で参加した佐藤光則さん（上川口）は「知人に誘われて参加しました。書道は50数年ぶり。久しぶりに筆を持った手が震えました。先生に教えてもらい、自分でもびっくりするほど上手に書けました」と楽しんでいました。

校舎を村民に開放し 書道教室を開催！

関川小学校で学社連携の取り組み



このたびは瀬賀百花さんが、関東ゴルフ連盟（KGA・1都10県）の指定強化選手に認定されました。

これは、関東ゴルフ連盟で実施する、世界で活躍できるジュニアゴルファーを育成・強化・輩出することを目標とした「TEAM KGAジュニア」プロジェクトの一環で、将来、（財）日本ゴルフ協会のナショナルチームで活躍できる選手の育成を行う高校生対象の指定強化選手10名に瀬賀さんが認定されたものです。

瀬賀さんは「指定強化選手

関東ゴルフ連盟 ジュニア指定強化選手に認定

瀬賀 百花さん （開志国際高校2年・下関）



の名前に恥じないよう今後も練習を頑張り、ナショナルチームに入れるよう日本ランキングを上げたいです」と抱負を語っていました。

今後は、ナショナルチーム入りを目指した強化合宿やトレーニング、食育などさまざまなプログラムが行われる予定です。また、瀬賀さんは、6月5日からヨネックスカントリークラブ（長岡市）で開催される女子プロゴルフツアーのヨネックスレディースにも出場する予定です。

未来へ大きくはばたけ！ 新たな希望を胸に卒業

開校5周年を迎えた関川小学校で、3月24日、卒業証書授与式が行われ、43人の卒業生が新たな門出を迎えました。

今年の卒業生は統合前の小学校と関川小学校の2校を経験した最後の卒業生。学校の先生や在校生、保護者に温かく見守られ、晴れやかな表情で式に臨みました。式では、鈴木政信校長から「関川村誕生60周年、関川小学校開校5周年の記念すべき年に卒業する皆さんは観光ボランティアなどの活動を通して、関川村の良さを発信し、地域づくりに大きく貢献してきました。これからは、思いやりの心を持ち、生活に目標を持ち、しっかり勉強してほしい」とお祝いの言葉が贈られました。

一人ひとり将来の夢を語った43人の卒業生。新たな希望を胸に、大きな一歩を力強く踏み出しました。



関川小学校卒業式



関川中学校卒業式

亡き友とともに… 3年間過ごした学舎を卒業

春の穏やかな陽気に包まれた3月6日、関川中学校で記念すべき「第10回卒業証書授与式」が行われました。今年の卒業生は男子21人、女子25人の46人。

式では、山崎明校長が式辞の中で「人は夢を追い求めることで、成功や失敗を経験し成長する。あきらめない心で、ひとつしかない尊い命を自分の夢のために使ってほしい」と卒業生に門出の言葉を贈りました。

また、卒業生を代表して、津野莉来さん（高瀬）が「今、3年間の思い出がよみがえってきます。3年生になって仲間の死という悲劇に見舞われましたが、彼のために出来ることを一生懸命頑張ろうと決めました。いろいろなことがありましたが、かけがえのない思い出を与えてくれたのは仲間のおかげです。本当にありがとう」と答辞を述べ、感謝の気持ちを胸に、仲間と過ごした思い出の学舎を後にしました。